

ほっとかへんネット兵庫

通信 No.002 2017/10
生活環境改善事業

生活環境改善事業の取組

参加の力が誰かを救います

ほっとかへんネット兵庫として、地域での公益的取組みである「生活環境改善事業」がスタートし、これまでに4世帯で取り組みを実施しました。

この事業は、在宅福祉サービスを受け入れるため、衛生的な環境や生活スペースを取り戻すため、といった緊急的な課題を抱えているけれど、本人や家族の努力ではどうにもならない方の「命」と「くらし」を守るために住宅内の片付けに各法人からスタッフが集まって清掃に取り組んでいます。

この事業は、ほっとかへんネット兵庫の会員法人の社会公益活動のひとつとして行っており、これまでに15法人、のべ71名の方にご参加いただいています。

搬出した不要物は区役所まちづくり課と環境局兵庫事業所との局間協力により処分され、パッカー車での適宜回収をご協力をいただいています。

そのほかにも活動する私たちの、着替えの場所や不要物の仮置き場の確保など、近隣の地域の方々にもいろいろご協力をいただいています。

対象世帯の判断指標

- ①兵庫区内の住居で現に居住している
- ②ほっとかへんネット会員法人、兵庫区保健福祉部または兵庫区社協のワーカーが当該世帯との調整及び事後の対応が可能である
- ③『神戸市住居等における廃棄物その他の物の堆積による地域の不良な生活環境の改善に関する条例』の対象外の世帯である
- ④現状の環境では健康状態の悪化や育成状況の悪化が懸念され緊急対応が必要である
- ⑤清掃や消毒にあたり本人の同意を得ることができる
- ⑥本人や家族による環境の改善が困難である
- ⑦本人や家族の負担による清掃業者等の利用ができない
- ⑧実施にあたっては本人または代理人の立会いが可能である

活動のキーマンとなった方の声

あんしんすこやかルームのKさん

地域の困り事を生活支援コーディネーターから地域福祉ネットワークワーカーに素早く報告してもらえ各調整などもスムーズに行えました。又、近隣住民から「手伝おうか」と声があるなど地域にとってもほっとかへんネット兵庫メンバーから支えられている安心感を与え、自分も何かできるのでは？というやる気にも繋がりとて意義のあるものとなりました。様々な方面から地域貢献に来て下さったメンバーに本人はとても感謝されています。

相談支援事業所のTさん

この事業がなかったらどうなっていたか…これまでのケースではヘルパーさんが最低限の訪問を繰り返している状態がほとんどで今回のケースはそこにすら至らないだろう、どうしたものか？でSOSをした次第です。幸運にも解決できる仕組みが兵庫区にあったことは本当に驚きでした。この仕組みは今後も地域に必要なと思います。本当にありがとうございました。

友愛訪問グループのHさん

見守り訪問を続けているなかで、室内の状態に気付き、初めは何人かのボランティアに手伝ってもらったら簡単に片付けができると考えていました。皆様のご協力で、現在は住みやすくなっているようで、外に出歩いて物をたくさん購入することが少なくなりました。ただ今回片付けるにあたり、まだ使えそうな品物は再利用できると良かったのではないかと思います。でも、いらんお節介りやったけどやって良かったなあと感じています。

パッカー車3台分



15法人、のべ71名の職員の皆さんがこれまでに4件の清掃に参加！！

活動に参加して

●想定していた清掃の内容より、はるかに規模の大きい清掃に驚きました。これを一日でどこまで出来るのか、みなさんのがんばりで何とかなるものなのか、清掃が終わった後、ここで住んでおられる方の生活はどうなるのか？色々考えながら清掃しておりました。

●(高齢分野) ●素朴な疑問としてあそこまでゴミがたまるまでには何かできなかったのか？今後のフォローはどの程度なのか？今後の活動としてゴミの清掃であればいくらでも時間と人があれば出来るとは思いますが、一番難しいのは、今後のサポートだと思えます。その人がその人らしく地域に根付いた生活ができるよう支援できればと思います。(高齢分野) ●高齢者ということもあり、ゴミを運ぶ体力もなくなり、ゴミ屋敷状態になってしまったのだと感じました。実際片付ける時本人に必要なものは捨てないよう気を配りながら進めプライバシーに配慮する必要があると感じました。今後地域に貢献できる活動は行おうべきだと思う(児童分野) ●長年住み続けることにより物が増え高齢者の方が片付けることが難しいという現状を知りとても勉強になりました。高齢者の方が多い地域は特にこれからも増えていくのだからと感じました。きれいな状態で保管されていた食器類などはリサイクルできれば良いなと思いました。(保育分野) ●当日に初めて顔もわからない方のお宅に訪問することになるので、最初は不安もありました。しかし、ケアマネの方が住人との間にいて下さったことでスムーズに清掃活動を進めることができましたのではないかと思います(保育分野) ●概ね全ての居室の整理ができ、滞りなく修繕工事ができる環境になったと同時に、ご本人に対して、ヘルパー利用を含めた生活の質の向上に向けた環境整備ができ、とても良かったと思います。今後も引き続き、同様のケースがあれば、積極的に参加していきたいと思えます(障害分野) ●ご本人も不安ながらも落ちついていらつしやう、良い活動であったと思う。ただ、必要といえやはりこの時期(8月)は中々厳しい条件であった(障害分野) ●何か月後どのような状態になっているか教えていただければ今後の活動にも活かしていただけるのではないかと思います(高齢分野) ●2時間という時間区切りとこまめな休憩が無理なく作業できて良かったと思います。(高齢分野) ●実施頻度については今後検討が必要かもしれません。が、制度の狭間を埋める大切な取り組みだと思います。この取り組み自体が1つの社会資源であるとの共通認識のもと、これからも息長く取り組んでいければと思います(障害分野) ●この活動をする事で地域の方たちがそのまます生活を継続できることを叶えるのであれば良いことだと思っていますし、一緒に働く職員にも経験して欲しいことだと思いました(高齢分野)